

事務事業事後評価シート[平成28年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	農林部農林企画課		■担当係	産業連携推進係
■評価事業名称	農産物ブランドアップ対策事業			
■事業開始年度				
■評価事業コード	050100 - 201	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	03 ひと・技・資源を組合せ活気うまれるまちづくり		
	■基本施策	03 魅力ある農林業の振興		
	■施策	02 農産物の高付加価値化と新たな流通の開拓		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の目的と概要	農産物や加工品の販路拡大やブランド力の向上による付加価値化を図るため、販路の開拓、拡大に繋がる県アンテナショップ等でのテストマーケティングやアンテナショップレストランでの料理提供を実施する。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成 28 年度事業計画	平成 28 年度事業量実績
01	農産物ブランドアップ対策事業	農家、農業生産法人等の、個人または団体	○首都圏でのイベント出店による農産物PR ○アンテナショップレストランイベント開催	○銀河プラザへの出店「北上市秋の農産物・加工品まつり」(商品送料、出店者及び従事者旅費等 計766千円) ○いわて国体及びいわて大会参加者へのさといもとりんごのPRの実施(提供用さといも、りんご 計288千円) ○石垣島まつりへの出店(商品送料、出店者及び従事者旅費等 計889千円)

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	備考
直接事業費	939	865	1,122	2,452	
人件費	1,298	1,767	1,266	3,778	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	2,237	2,632	2,388	6,230	

4. 評価指標等の状況

事務事業事後評価シート[平成28年度事業]

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況	達成状況の分析	問題点・課題等
☐ A. 順調 ☒ B. 概ね順調 ☐ C. 遅れている	継続的なイベント出店においては、北上産農産物の知名度が高まった。	農産物の収穫期である秋にイベントが集中するため、優先順位をつけ、効果的な出店、PRが必要。
1. 直接的な受益者の範囲 ☐ 不特定多数に及ぶ ☐ 特定されるが多数に及ぶ ☒ 特定少数に限定される	2. 事業廃止の影響 ☐ 大きな不利益やリスクが生じる ☒ ある程度の不利益やリスクが生じる ☐ 不利益やリスクは小さい	3. 国・県・民間との競合関係の有無 ☐ 類似の事業はない ☒ 類似の事業はあるが競合はない ☐ 類似の事業があり競合する
4. 事業へのニーズの変化 ☐ ニーズが高まっている ☒ ニーズは変わらない ☐ ニーズが低下している又は合致しない	5. 施策の改善需要度(市民意識調査) ☐ 順位が高い ☒ 順位が中程度 ☐ 順位が低い	6. 施策の優先度(市民意識調査) ☐ 順位が高い ☒ 順位が中程度 ☐ 順位が低い
7. 他市町村に比較しての優位性 ☐ 先進的またはユニークな事業である ☒ 他と同程度の事業である ☐ 遅れている事業である	8. 実施主体の代替性 ☐ 民間委託等の拡充は難しい ☒ 民間委託等の拡充が十分に可能 ☐ 全部委託や実施主体の移行が可能	9. 経済性・効率性の向上 ☐ 今以上の効率化や改善は難しい ☒ 効率化や改善を図ることは十分に可能 ☐ 効率化や改善の余地が大きい
■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)		
北上産農産物のPRとして各種イベント等への出展は定着してきているので、出展事業者の販路拡大に繋がるPR(個別チラシ等)に力を入れる。		■今後の方向性 ☐ I. 拡充 ☒ II. 継続 ☐ III. 縮小 ☐ IV. 廃止・休止 ☐ V. 完了